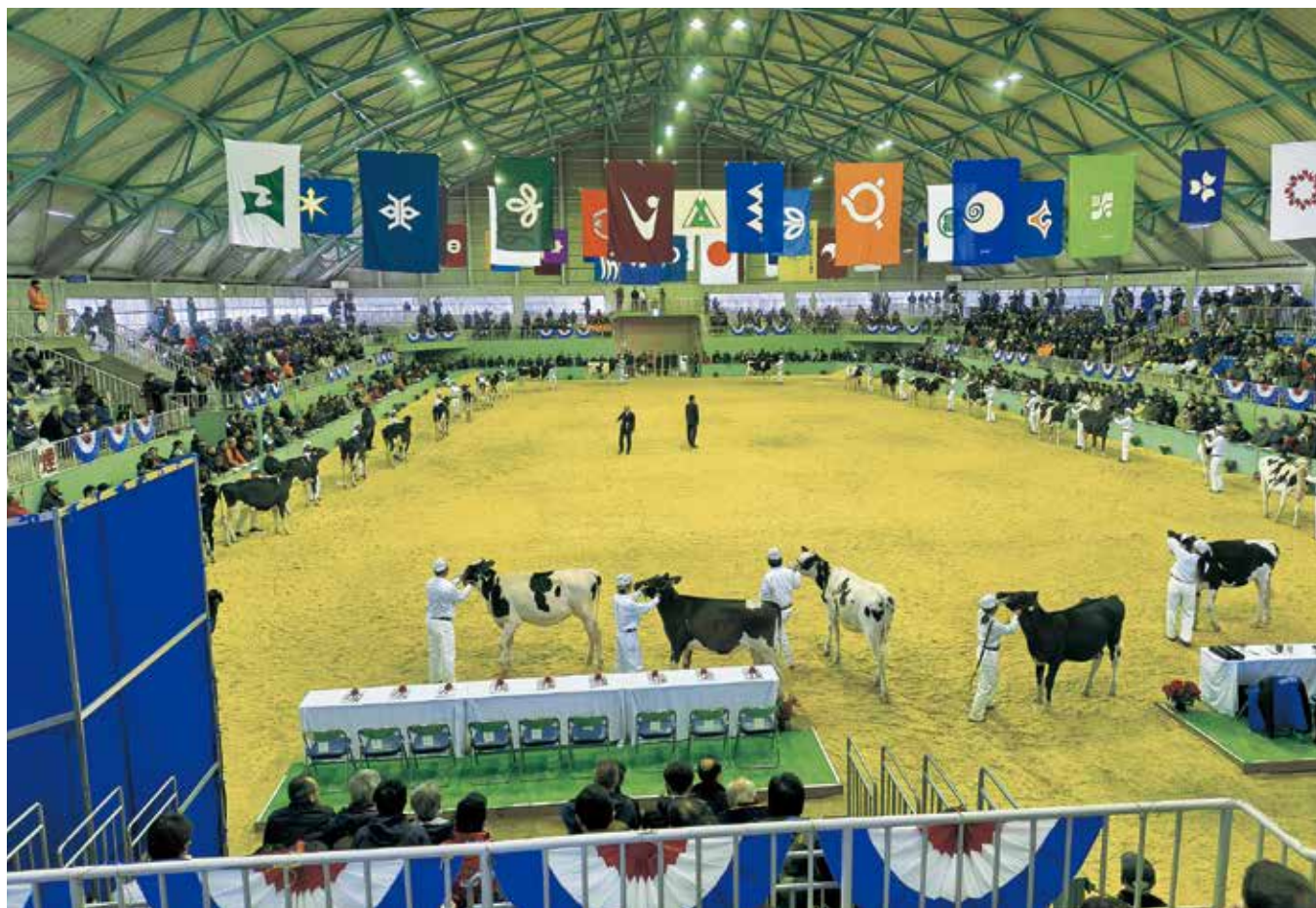


# 新年号

# 酪農とちぎ



第16回全日本ホルスタイン共進会

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| 1 ページ    | 表紙                  |
| 2 ページ    | 組合長挨拶               |
| 3 ページ    | 栃木県知事挨拶             |
| 4 ページ    | 青年部本部部長挨拶、女性会会長挨拶   |
| 5 ページ    | 東西南北                |
| 6～7 ページ  | 部課だより               |
| 8 ページ    | 畜産公共事業は公社にお任せください！  |
| 9～10 ページ | ロイヤル・ウィンターフェア視察報告   |
| 11 ページ   | 理事会だより、全共酪農とちぎ入賞牛一覧 |
| 12 ページ   | お知らせ、市場成績           |

「キャラクター<sup>えみ</sup>笑味ちゃん」



みんなのよい食プロジェクト



# 新年の挨拶

酪農とちぎ農業協同組合

代表理事組合長 白井 勉



組合員ならびにご家族の皆様方におかれましては、輝かしい新春を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は、弊組合の事業全般に對しまして、特段のご理解ご協力を賜りましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。

また、皆様方の安全・安心な良質乳生産のご尽力により組合の生乳生産は計画達成に向けて堅調に推移しており、敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて、酪農経営をめぐる情勢は、

3年続きの乳価値上げにより改善の方向に進んではいますが、直近の生乳需給において例年にならない厳しさが見込まれている所です。

すでに年末年始期において生乳の全量処理に向けた取組みが図られておりますが、業界を挙げての牛乳乳製品の需要拡大運動の推進は急務の課題となっております。

組合では昨年末より、県牛乳普及協会主催「絵画ポスターコンクール」の入選作を原画に牛乳消費拡大のメッセージを添えたシールを製作し、集乳業務委託業者のご協力のもと、集乳車30台の生乳タンクにシールを貼付し、牛乳消費拡大の一助となるよう対応を図りました。今後も組合は消費拡大支援事業を展開しながら、地域での県産牛乳の試飲や無償配布、バター作りや搾乳体験など牛乳・乳

製品の消費拡大や酪農理解醸成の取組みについて支援を継続してまいります。

農水省は来年度からの食育推進計画のなかで、生産現場への理解に向けた学校での農林漁業教育の実践や健全な食生活の実践に向けた「大人の食育」の推進などを重点事項に掲げ、新たな視点で具体的施策を盛り込んだとの報道がありました。まさに食育とはいえ、これらは日本の食料安全保障などに関する学びを国民の全世代を通じ深く広く推進するものであり、「農は国の礎」という考えを浸透させる恰好の取組みであると評価しております。私たちも生乳の生産現場から国産の牛乳・乳製品を消費する意義や酪農業の存在価値について丁寧な語り、消費者の行動変容に向け有益な情報を皆様方と共に胸を張って発信してまいりたいと存じます。

政府は、生活の安全保障・物価高への対応等を柱とする総合経済対策を閣議決定し、令和7年度補正予算を編成して臨時国会に提出し、可決成立いたしました。飼料

価格の高止まりや生産資材の価格上昇が続く現状をふまえ、農林関係補正予算において物価高騰の影響緩和対策など持続可能な酪農に必要な措置を講じるよう酪政連活動をはじめとして国や政府に対して支援拡充を要請してまいります。皆様方におかれましては、乳用牛の長命連産性の向上、繁殖管理の改善、国産飼料の生産・利用拡大など、持続可能な酪農の確立に精進していただきたいと存じます。

結びに、第7期となる中期3カ年構想（令和6年度～8年度）の2年目として「多様な酪農の成長を支え、持続可能な酪農を目指す」の基本方針のもと、皆様方が駿馬の如くより良い方向に疾走しているよう役職員一丸となって組合運営に取組んでまいります。

今後とも、組合運営に對しましてご理解ご協力をお願いするとともに、ご家族皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げ新年の挨拶いたします。

令和8年 元旦



# 新年知事あいさつ

栃木県知事 福田 富一



酪農とちぎ農業協同組合の組合員、役職員の皆様、あけましておめでとございます。日頃から本県農政の推進に御尽を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年開催された大阪・関西万博では、デジタル技術を活用した参加型・体験型の本県展示ブースに、当初の目標を大きく上回る5万人の来場者をお迎えし、とちぎの豊かな自然や文化・歴史、食等の魅力をお伝えすることができました。引き続き、県内外への本県の魅力発信に取り組み、観光誘客の

促進等を図って参ります。

一方、長期化する物価高騰や米国の関税措置につきましては、県民生活や県内経済への影響を最小限にとどめられるよう、国の総合経済対策に呼応し、関係機関とも連携を図りながら、迅速に対応して参ります。

現在、県では栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に続く、令和8（2026）年度から5年間の県政の基本指針となる次期プランのほか、県農政の基本方針となる次期「栃木県農業振興計画」、更には、酪農及び肉用牛生産の振興施策の方針となる次期「栃木県酪農・肉用牛生産近代化計画」の策定を進めております。次期計画に掲げる、収益力が高く、担い手がいきいきと活躍する畜産経営を実現し、次の世代にしっかりと引

き継いでいけるよう、積極的に施策を推進して参りたいと考えております。

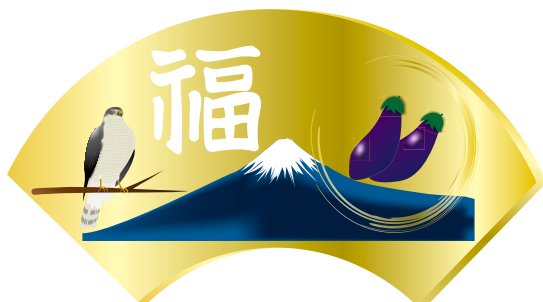
特に、26年連続で生乳生産量本州第1位を誇る「ミルクの国とちぎ」の持続的な発展を図るため、本県畜産農家と耕種農家双方の強みである豊富な堆肥や広大な水田を生かした耕畜連携の推進に加え、飼料生産組織の育成による自給飼料の更なる増産や、乳牛等への自動給餌などスマート農業技術の導入による省力化を図るとともに、空き牛舎などの経営資源の活用推進による担い手の確保・定着に取り組んで参ります。

また、県民の皆様には本県酪農及び牛乳への理解を深めていただき、安定した牛乳の需要を確保し、消費拡大につなげるため、引き続き、「栃木県民牛乳消費拡大月間」の推進をはじめ、酪農や牛乳の魅力を広く発信して参ります。

今後とも、時代の潮流を的確にとらえ、県民の皆様と共に課題解決を図りながら、誰もが未来に夢や希望を抱き、豊かさと幸せを実

感できるとちぎづくりを推進して参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。本年が皆様にとって希望に満ちた素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

令和8年 元旦



## 新年の挨拶

青年部本部長 荒井 芳幸



新年明けましておめでとうございます。令和8年の初春を迎えることが出来て大変うれしく思います。皆様におかれましては、益々のご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より部員の皆様、組合役職員の皆様には青年部活動に対し、格段のご協力とご指導を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博の開催であったり、野球のメジャーリーグでは、ドジャースの大谷翔平選手を初めとする日本人選手の活躍が大きな話題を呼びました。同じ日本人としてたくさんの勇氣と希望をいただきました。

酪農情勢につきましては、乳価の引き上げによる収益の改善が見られる一方、酪農家戸数の減少や生乳生産基盤の維持が課題となっています。乳価の引き上げは経営

改善に貢献しましたが、飼料価格の高騰は依然として大きな影響を及ぼしており、今後の安定供給に向けて生乳生産量の確保が重要な焦点となります。

このような状況下、青年部の活動としては、7月にソフトボール大会を開催し、子供達の夏休み期間には、カルビー清原工場にて工場見学を開催できました。一昨年は家族交流会が中止となってしまいました。今回は予想人数を大きく上回る部員と家族の方々に参加していただけたことに大変ありがたく思います。我々役員も、できるだけ多くの部員の方に参加していただけるイベント、研修会等を考えていかなければならないと考えております。時代の流れとともに今までの活動に人が集まらなくなってきたのも事実です。その為、今回は冬のイベントであるボウリング大会を一度やめて、組合事業との共催で北海道の酪農家の方を講師に招き「酪農家に聞く！ゲノム評価導入と牛群作りの秘訣」と題し、パネルディスカッション形式で研修会を開催致します。研修後は講師の方を交えて交流会を企画しておりますので部員をはじめ、組合員の皆様の多数ご参加のほどよろしく願います。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 新年の挨拶

女性会会長 海老原治美



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。女性会会員の皆様、組合役職員の皆様には女性会活動に対しまして格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、女性会におきましては、6月に開催された総会において支部の合併に伴い9支部から7支部へと変更されました。しかし、各支部が意欲的に活動し、協力し合い、仲間同士の大切さを感じた年となりました。また、12月2日にホテルエピソードナール那須にて開催された全体研修会は、写真家の高田千鶴さんをお招きし「命が輝く景色の中で」

と題し講演をいただきました。大好きな牛と関わる中で得た様々な経験や思いを、時折目に涙を浮かべながらのお話に、私たち酪農家も共感し真剣に耳を傾けていました。昼食会でのじゃんけん大会も盛り上がり有意義な研修会となりました。さらに、6月と10月に行われた栃木県酪農青年女性会議の理解醸成活動では、消費者の皆様がグッツや牛乳配布を通して酪農PRが出来ました。また7月に岡山で開催された全国酪農発表大会では、次世代を担う後継者たちの前向きな経営内容に大変感銘を受け、多くの学びや新たな気付きを得ることが出来ました。

酪農家が減少し女性会会員も減る中、これからの課題として、若い後継者の考え方や意見を取り入れ、女性会が会員にとって魅力的な組織と認識してもらえようような活動をしていかなければと考えております。女性が安心して酪農に携わり、学び、つながりを大切に経営に参加していただきたいです。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



# 東西南北

## 那須高原支所

### 田代友愛小学校搾乳体験

11月19日、那須町高久の伊藤高行牧場にて搾乳体験を行いました。

1・2年生38名を対象に、高久地区や青年部那須支部の酪農家に加え、森久保薬品、日本全菓、日本農産、フィードワン、エランコ、神保那須の関係業者の方々にもご協力いただき、関東生乳販連よりお借りした搾乳体験車での搾乳体験、牧場内見学、バター作り体験の場も設け、賑やかな体験となりました。

さらに、トラクターやホイールローダー、ロールサイレージを置



いて、興味のある生徒にはトラクターの中の見学や、ロールに自由にお絵描きしてもらうなど酪農に関することを様々な形で触れて楽しんでもらうことができました。

また、牛乳普及協会より牛乳普及促進の為のグッズの配布も行い、牛乳消費のPRも重ねて行うことができました。



搾乳体験を行い、牧歌的な手搾り体験と、実際の飼養管理現場の見学を通して「酪農」をより身近に感じていただけたと思います。今後もこのような場を設けていくことで、地域の子供たちへの食育としてだけでなく、酪農家側も協力して活動できる機会として、続けていければと思います。

ご協力いただいた学校側の皆様や酪農家、関係業者の皆様には多大な感謝を申し上げます。

## 宇都宮支所

### 女性会家族交流会を開催

#### 女性会那須南支部・

#### 後継者の会家族交流会

女性会那須南支部（興野礼子支部長）では、11月1日東京・上野方面へ後継者の会さらに後継者のご家族を交えた家族交流会を実施しました。合



計11名が参加しました。まず、上野にある国立科学博物館に行きました。そこでは、特別展として「大絶滅展」が開催されており、生命進化の歴史を辿りながら5回の大絶滅に分けて展示がされていました。化石や標本など貴重な資料が沢山あり、進化の歴史を知ることができました。

その後、東京スカイツリーへ移動し、展望デッキ・展望回廊へと昇りました。東京スカイツリーは、高さ634mあり、世界一高いタワーとして知られています。天候にも恵まれ、東京都の街並みを一望できました。

帰りには皆さん家族へのお土産を楽しそうに選んでおられました。3月にも2回目の家族交流会を予定しております。今後も、支部員・後継者の会会員の皆様の交流の場をつくっていききたいです。



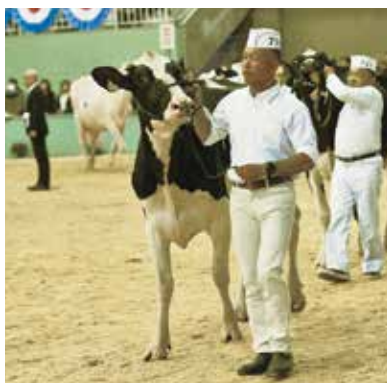
# 部課だより

## 業務部

●熱戦！

第16回全日本ホルスタイン共進会！！

10月25日(土)から26日(日)にかけて北海道安平町の早来市場（ホクレン 南北北海道家畜市場）にて第16回全日本ホルスタイン共進会が10年ぶりに開催されました。栃木県からは県を代表しホルスタイン種11頭、ジャージー種1頭の合計12頭（本組合からは7戸、8頭）が出品されました。本県においては7部の「コバリ カプレゼ ゼロ ボヌッチ」が優等3席に入賞した



小針さんと「コバリ カプレゼ ゼロ ボヌッチ」



栃木の出品牛たち



会場の様子

他、全20部の内5クラスで府県出品牛がクラスチャンピオンを獲得する等、府県の活躍が目立った大会となりました。約1年前よりセミナー等を通じ準備を進めた出品

## 全共アナザーストーリー

10月20日に仲間の声援を受けながら栃木を出発した面々は、途中、毛刈りが進まず焦る出品者、会場周辺の交通事情により予定が大幅変更になり狼狽する事務局、同級生の活躍に涙ぐむ前同志会会長などなど、大小さまざまな出来事（本当に色々あり紙面には書ききれません！）を乗り越え、各都道府県選りすぐりの愛牛達と熱戦を繰り広げました。最後に帰路のフェリーが荒天により大いに揺れるオマケ付きで、大いに盛り上がった全共も10月27日に無事に栃木に帰って来る事が出来ました。この経験と得られたチームワークは次回大会にも大いに発揮される事でしょう。

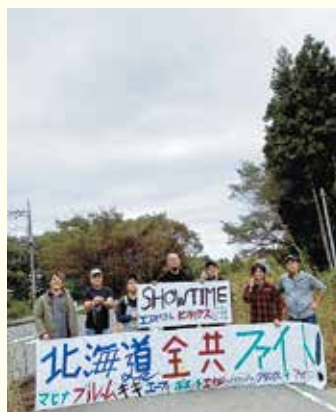
者の方々にあつては、全共に向けた各種取り組みが実を結んだ結果と存じます。今回の大会を通じ得られた経験や、栃木県としてのチームワークは次回の全共もさる



出品お疲れ様でした



10年ぶりの開催を報じる号外



応援ありがとうございました

ことながら、日頃の飼養管理や地域の酪農振興にも大いに貢献するものと確信すると同時に、出品者の方々のさらなるご活躍をご期待いたします。



## 生乳受託課

令和7年11月度の組合生乳生産量は、20,802t（前年比101.9%）となりました。各支所の受入乳量は、那須高原支所15,046t（前年比102.6%）、宇都宮支所5,757t（同100.2%）となり、出荷者数は前年同月より7戸減の285戸（内、学校1）となりました。

11月度の組合平均乳質は、脂肪率3.93%（前年差▲0.02%）、無脂固形分率8.98%（同+0.08%）、体細胞数は19.33万（同▲2.19万）の成績となりました。

関東生乳販連の11月の総受託乳量は81,102t（前年比99.8%）となり、5ヶ月ぶりに前年を下回る状況です。用途別販売数量を見ると、学乳は供給日数の減少や、インフルエンザやコロナの早期まん延による学級閉鎖等の影響もあり、飲用全体としては前年比97.2%、はっ酵乳向けが前年比96.7%と低水準で推移していることから、脱粉・バター等向けが152.0%と大幅に増加し前年を上回る結果となりました。

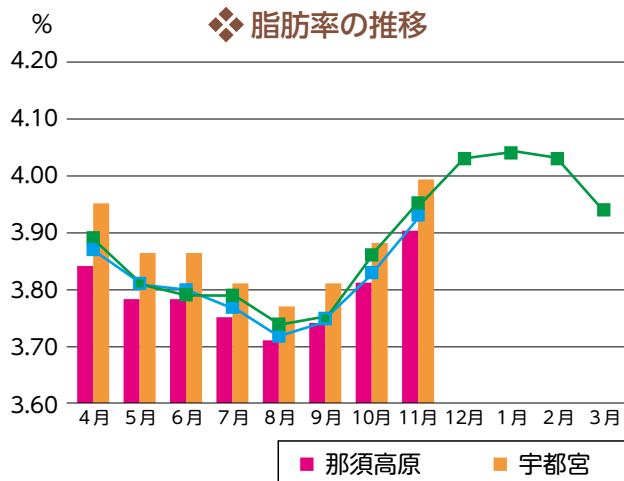
令和7年度 関東生乳販連用途別販売数量

（単位：kg・%）

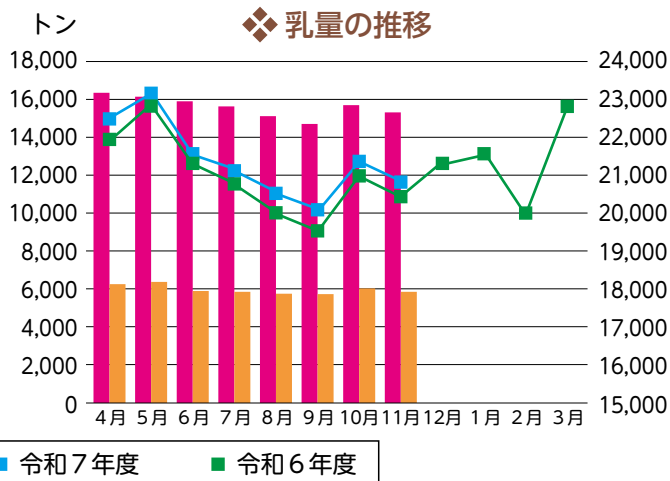
用途	11月期実績	前年同期実績	前年比	11月末実績（累計）	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	63,402,544	65,204,530	97.2	509,909,246	511,771,098	99.6
（うち学校を除く飲用）	53,578,092	53,728,458	99.7	437,208,592	435,863,955	100.3
（うち学校向け）	9,824,452	11,476,072	85.6	72,700,654	75,907,143	95.8
はっ酵乳向け	10,836,110	11,208,013	96.7	89,324,463	93,310,848	95.7
脱粉・バター等向け	5,719,948	3,762,938	152.0	64,027,004	55,426,715	115.5
生クリーム等向け	1,002,119	986,804	101.6	7,549,978	8,005,009	94.3
チーズ向け	141,257	138,035	102.3	1,049,431	1,063,820	98.6
総受託乳量	81,101,978	81,300,320	99.8	671,860,122	669,577,490	100.3
脱粉・バター等向け比率	7.05	4.63	—	9.53	8.28	—

全国の生産量は99.4%と2ヶ月連続で前年を下回りました。内訳は北海道が99.7%、都府県が99.1%の前年比となっています。なお、令和7年11月度の生産量・乳質、及び関東生乳販連の用途別販売数量は別表の通りです。

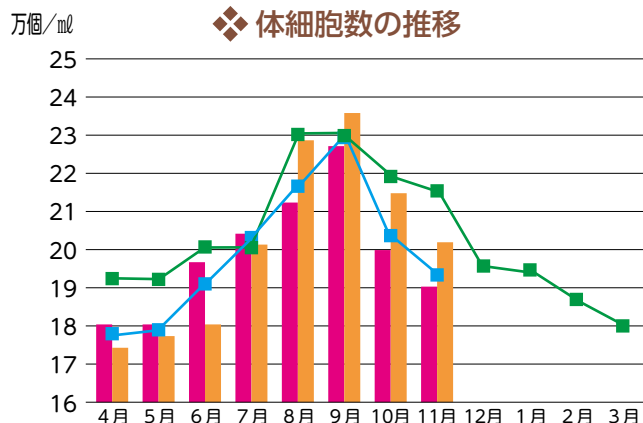
◆ 脂肪率の推移



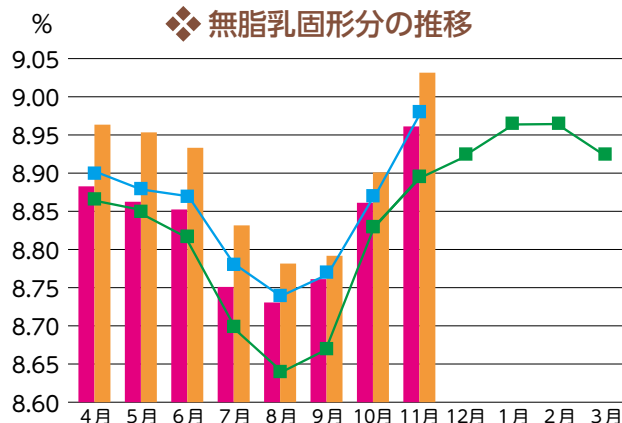
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分の推移



# 畜産公共事業は 公社にお任せください！

栃木県農業振興公社では、飼料自給率の向上と畜産経営の効率化を目指し、国の補助金を活用し、飼料畑等の造成・整備それに伴う畜舎・堆肥舎等の施設整備を支援しています。

## 公社に依頼するメリット

- 50 年の実績と経験でサポート！
- 経営者のニーズに柔軟対応！
- 高い補助率で負担を軽減！
- 農地転用等の許認可手続きの代行でスムーズ！
- 専門職員による工事監督で安心！



## 〈畜産担い手育成総合整備事業〉

### ◆事業要件

- ・ 1 地区おおむね 10 名以上の参加者
- ・ 認定農業者、または認定予定の農業者
- ・ 飼料畑等の造成・整備を実施
- ・ 地区全体でおおむね 30ha 以上の造成・整備

- ・ 飼料畑の造成・整備で飼料自給率アップ！
- ・ 畜舎や堆肥舎の整備で作業効率向上！
- ・ 補助金活用で負担を大幅軽減！

### ◆補助率

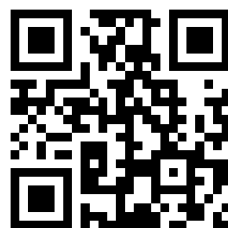
- ・ 飼料畑等の造成・整備、施設用地造成など  
→補助率 75%（自己負担 25%）
- ・ 畜舎、飼肥料庫、堆肥舎（ローダー付き可）、牧柵など  
→補助率 60%（自己負担 40%）

未来の畜産経営を一緒につくりませんか？

お問い合わせは

（公財）栃木県農業振興公社まで！

TEL：028-648-9514



公社HP





## 第29回 ロイヤル・ウィンターフェア視察と カナダ酪農視察研修に参加して

業務部指導企画課 小林 来望

11月11日～16日にカナダのトロントへ渡航し、第29回ロイヤル・ウィンターフェア視察とカナダ酪農視察研修に参加させていただきました。組合員後継者の大金智稀さんと人見詩緒里さんと一緒に参加し、総勢21名での研修となりました。

### 【カナダの酪農制度について】

カナダにはクォーター制度というものがあり、政府から州へ、州から農家へ生乳を生産してもよい量が指定されるというものです。メリットとしては政府から事前に生産量を決められていることもあり、乳価が安定します。デメリットとしては規模拡大（頭数を増やす）を行いにくいというものです。規模拡大をするには、他の牧場からクォーターを購入するという方法がありますが、購入から使用できるまでに5年かかるという点もネックです。しかし、クォーター制度は生乳のみに適用される制度の為、加工品には適用されません。

また、酪農は大量に水を利用することから、ナイアガラの滝から流れる大量の水を水源として利用できるため、オンタリオ州とケベック州で農家の戸数がカナダ全体の約7割をしめます。

### 【2つの牧場について】

一つ目は、「Bosdale Farm」（ボスデール牧場）を視察しました。牛は590頭飼育しており、その内エクセレント90頭、ベリーグッド110頭、グッドプラス30頭。ロボット搾乳は初産に1台、2産以降に2台の計3台設置してあります。繁殖についてはすべて人工授精で行っています。ショウカウと一般の牛で精液に差別化はしていません。また、夏場は日本に似ているところもあり、気温は35℃になり、近くに湖があることから湿度も高くなるため、扇風機とミストを使用し、牛舎カーテンを気温に合わせて開閉するなど日本に似た暑熱対策を行っています。夏の気温と湿度に関してはボスデール牧場の悩みの1つになっていて、気候の変化には頭を悩ませているようです。

二つ目は、「Summit Station Dairy」（サミットステーションデリー・旧サミットホルム）を視察しました。搾乳牛480頭（内A2牛乳の牛が80頭）で1日3回搾乳をしています。

アガランといった海藻でできたものを飼料に入れています。アガランは牛が排出するメタンガスの量を減少させる効果があり、地球温暖化削減に積極的に取り組んでいます。また、餌はすべて買い餌となっていて、自給飼料は作っていません。

炭素排出量0を目指しているようで、牛舎で使用される電気の80%をソーラー発電でまかなっているとの説明を受けました。

### 【クォーター制度に対する現地酪農家の意見について】

ボスデールとサミットステーション両方にクォーター制度について質問した際は、どちらともクォーター制度は乳価が安定する為支持するとの回答がありました。こうしたほうが良いなどの改善点はあるかもしれないが制度に反対している農家はほぼいないとのことでした。



## 【ロイヤル・ウィンターフェアについて】

ロイヤル・ウィンターフェアは、エキシビション・プレイスという建物の中で2日かけて開催されました。私たちは2日目の経産牛の部の視察を行いました。ロイヤル・ウィンターフェアは国主催のお祭りの為、期間中は休日になります。その為、会場周辺には子供たちがたくさん集まっていて、出店も時間内に回り切れるかわからないほど、かなり多く見られました。

共進会を見学した感想としては、体が大きくバランスの取れた牛たちがとても多い印象です。また、ここまでの数の出品頭数を見たのは初めてで、1つの部だけで40頭にせまる頭数がリングを歩く光景は圧巻の一言でした。

15:00頃から、ホルスタイン共進会のグランドチャンピオン決定戦を見学、緊張の中グランドチャンピオンとリザーブチャンピオンが決定しました。グランドチャンピオンはユニクスを父に持ち、2018年12月10日生まれの牛であり、体格と乳房共にしっかりした、最高の牛です。リザーブチャンピオンはアロングサイドを父に持つ2020年10月16日生まれの子牛です。

おわりに、この度は海外で貴重な経験をさせていただき、心から感謝しております。これからもこの経験を生かし、業務に取り組んでまいりたいと思います。



## 理事会だより

### 8月度理事会（8月29日）

#### 報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 組合プール乳価について
- 4 生乳生産管理チェックシート  
記帳・記録状況について
- 5 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- 1 7月度事業実績について
- 2 固定資産の処分について（追認）

### 9月度理事会（9月30日）

#### 報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 組合プール乳価について
- 4 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- 1 8月度事業実績について
- 2 令和7年度事業運営に関する  
理事会附議事項の一部変更に  
ついて

- 3 余裕金運用規程及び有価証券  
等への運用最高限度額の設定  
について

- 4 育児・介護休業法の改正等に  
伴う諸規程類の改正について

- 5 固定資産の取得について（追認）

### 10月度理事会（10月31日）

#### 報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合プール乳価について
- 3 特別管理未収金の報告について
- 4 子会社の上半期事業実績につ  
いて
- 5 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- 1 9月度及び上半期事業実績に  
ついて
- 2 余裕金運用規程及び有価証券  
等への運用最高限度額の設定  
について

### 11月度理事会（11月28日）

#### 報告事項

- 1 組合員の加入について
- 2 業務経過報告について
- 3 組合資金貸付について

## 第16回 全日本ホルスタイン共進会 酪農とちぎ出品牛入賞結果一覧

開催期日：令和7年10月25日(土)～26日(日)

開催場所：北海道ホルスタイン共進会場（北海道勇払郡安平町）

出品頭数：8頭

区 分	出品区分	名 号	出 品 者		入賞結果
			住 所	氏 名	
未経産牛	第4部	タカミナ コン シエルジュ リ ライト キキ	那須塩原市 箕輪	皆川 健介	2等6席
	第6部	コバリ ウイル ヘルミナ チー フ エーファイ	那須塩原市 青木	小針 勤	2等4席
経産牛	第7部	コバリ カプレ ゼゼロ ボヌ ツチ	那須塩原市 青木	小針 勤	優等3席
	第9部	ビツクバリア デルタラムダ ラグリンジ ET	那須塩原市 青木	大関 悠太	1等2席
		エステリア S Jエリザベス Sキック エナ ジー	那須烏山市 小倉	中山 真夢	1等3席
	第13部	コマバファーム クリスマス デルタラムダ	宇都宮市古 賀志町	駒場 靖史	優等7席
	第15部	リージエント ミス アジア ET	那須塩原市 関谷	和田 泰	2等2席
	第16部	ウイングバレー エクスペリー ト ドアマン	芳賀郡茂木 町鮎田	羽石 啓介	2等4席

### 12月度理事会（12月26日）

#### 報告事項

- 1 業務経過報告について
- 2 組合資金貸付について
- 3 年末手当の支給について
- 4 組合プール乳価について
- 5 生乳生産管理チェックシート  
記帳・記録状況について
- 6 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- 1 10月度事業実績について
- 2 令和7年度配合飼料等特別奨  
励措置（案）について
- 3 令和7年度事業運営に関する  
今後の対応について
- 4 第25回酪農まつりについて
- 5 固定資産の取得について
- 6 年末手当の支給について

#### 協議事項

- 1 11月度事業実績について
- 2 固定資産の取得について（追認）



# お知らせ



## 《職員人事》

新規採用者（11月1日付）

那須高原支所業務推進課

詫間 哲男

## 《新入職員紹介》

新規採用者（8月1日付）

那須高原支所 佐藤 年紀



8月より那須高原支所業務推進課に配属されました佐藤年紀と申します。前職では個人農家として茄子の生産をしていました。酪農場での経験はありませんが、私は牛乳が大好きで、親戚や地元の後輩に酪農業をしている方が居ることもあり、酪農業を身近な存在に感じていました。酪農について日々学んでいます。酪農がこれ程までに複雑で難しく、大変なものであるとは思っていませんでした。酪農家さん・乳牛への有難さを改めて感じています。

まだまだ知識や経験の足りない未熟な私ですが、一日も早く頼れる職員となる様、努力して参りますので、宜しくお願い致します。

新規採用者（11月1日付）

那須高原支所 詫間 哲男

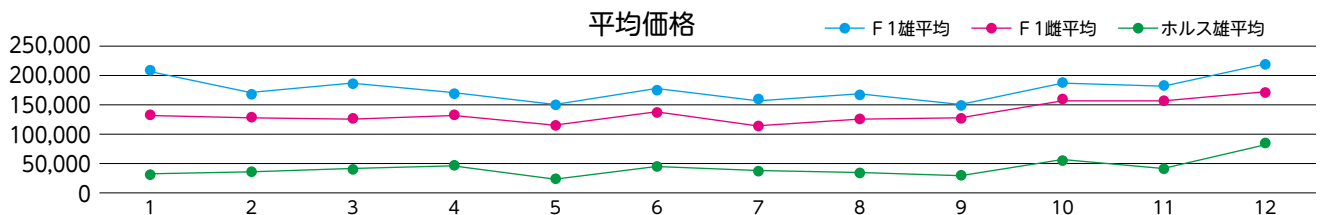


11月より那須高原支所業務推進課に配属となりました、詫間哲男と申します。出身は香川県で、11年前に東京から那須町に移住して参りました。地元で働き地域に貢献できる仕事に就きたいと思い本組合に応募し、採用いただく運びとなりました。異業種からの転職で、酪農については一から勉強している最中です。

不慣れな点が多々あると思いますが、一日も早く組合に貢献し、組合員様のお役に立てるように頑張る所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

10月～11月度 那須家畜市場高値及び平均価格（単位：円（税込））

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開催日		10月5日	10月10日	10月15日	10月20日	10月25日	10月30日	11月5日	11月10日	11月15日	11月20日	11月25日	11月30日
F1雄	高値	261,800	267,300	247,500	275,000	199,100	275,000	221,100	234,300	199,100	262,900	233,200	283,800
	平均	208,725	167,803	186,364	168,863	150,017	175,084	160,273	166,724	148,500	186,836	183,279	218,686
F1雌	高値	211,200	233,200	206,800	216,700	183,700	240,900	195,800	224,400	176,000	234,300	205,700	250,800
	平均	133,155	128,907	126,932	132,854	114,957	137,390	114,125	126,338	126,581	159,941	157,490	170,661
ホルス雄	高値	59,400	106,700	67,100	104,500	44,000	103,400	72,600	60,500	71,500	101,200	75,900	133,100
	平均	31,065	36,237	39,705	47,486	23,613	44,778	36,942	33,603	29,805	55,085	40,506	85,085



11月度 ホクレン初妊牛市場成績（単位：千円（税込））

ホル系 初妊牛					(ET初妊牛)		
市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	出場頭数	成立頭数
根 室	11月6日	299	256	85.6%	575	42	35
十 勝	11月10日	554	504	91.0%	603	103	92
豊 富	11月21日	386	366	94.8%	515	7	7
釧 路	11月24日	314	294	93.6%	558	29	24
十 勝	11月25日	578	475	82.2%	605	102	98
北 見	11月26日	422	365	86.5%	538	32	24
根 室	11月27日	333	308	92.5%	539	74	74
合 計		2,886	2,568	89.0%	562	389	354
前 月		2,369	2,112	89.2%	578	281	262
前年同月		2,688	2,597	96.6%	495	327	317

今後の初妊牛動向としましては、春分娩に差し掛かる牛が取引され始めることから、引き合いは徐々に強まるものと予想されます。道内の資源状況は、自家保有の傾向が強いことから、酪農家からの出回りは抑制された状況で推移するものと予想されます。例年、年末は相場が一旦落ち着き、年明けから引き合いが強くなる傾向にあることから、導入を希望される方は、早めのご注文をよろしくお願いいたします。